



赤潮被害軽減に向けたカキ養殖の拡大と海洋環境保全や働き方改革を両立させた資源循環型カキ養殖の実践

事業所・団体プロフィール

名称：佐伯市シングルシード養殖協議会
住所：佐伯市大字片神浦376-2
代表者：代表社員 宮本 新一

関係する県の制度

大分県地域活力づくり総合補助金

関連する
SDGs

2 飢餓を
ゼロに



8 働きがいも
経済成長も



12 つくる責任
つかう責任



14 海の豊かさを
守ろう



17 パートナリプで
目標を達成しよう



具体的な取組

赤潮被害を軽減するため、水質浄化能力が高いカキの養殖を拡大するとともに、生産過程で生じるカキ殻を有機農業で利用し、食事を通じた環境保護を図っている。

【特徴】

- カキはプランクトンを餌とするため、養殖を拡大することで赤潮プランクトンの異常増殖を防除でき、被害軽減に寄与している。
- バスケットを利用した新しい手法で生産するため、従来型の垂下式カキ養殖で生じるプラスチック廃棄物が発生しない。
- 船の動力を活用した省力化システム等、生産効率化による労働時間の短縮や生産規模の拡大が可能（働き方改革）。
- 有機農家と連携した、カキ殻リサイクル肥料の利用促進により、資源循環型カキ養殖を実践している。

